

# 社 会

## I 教科、種目の観点

資料作成に当たっては、共通観点の他に、学習指導要領(平成29年3月)に示された各教科の目標や内容等に即して検討し、教科独自の観点を定めた。

1 教育基本法の理念や第三期長崎県教育振興基本計画の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での特長	
共通 観点	(1) 教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成、「本県教育が目指す人間像」の育成に資する内容、構成となっているか。
	(2) ふるさと長崎の伝統・文化や歴史、自然について理解を深める学習に生かせる題材が扱われているか。
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長	
共通 観点	(1) 基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるよう工夫されているか。
	(2) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されているか。
	(3) 主体的に学習に取り組む態度を身に付けることができるよう工夫されているか。
教科 独自 観点	(4) 地理的分野 ア 社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせることができるよう工夫されているか。 イ 既習事項を基に、生徒自身が設定した学習課題によって学びを深めることができるよう工夫されているか。 ウ 我が国の国土に対する愛情や、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする態度を養うことができるよう工夫されているか。
	(5) 歴史的分野 ア 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせることができるよう工夫されているか。 イ 既習事項を基に、生徒自身が設定した学習課題によって学びを深めることができるよう工夫されているか。 ウ 我が国の歴史に対する愛情や、国際協調の精神を養うことができるよう工夫されているか。
	(6) 公民的分野 ア 現代社会の見方・考え方を働かせることができるよう工夫されているか。 イ 既習事項を基に、生徒自身が設定した学習課題によって学びを深めることができるよう工夫されているか。 ウ 国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国の主権を尊重し、各国民と協力し合うことについて自覚を深めることができるよう工夫されているか。
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ(ユニバーサルデザイン)等の観点からの表記・表現や体裁の特長	
共通 観点	(1) 文章は、分かりやすく、質・量ともに適切な記述となっているか。
	(2) 写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。
	(3) レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用、紙質、製本等については、適切に配慮されているか。

## II 選定資料利用上の留意点

- 1 資料の作成に当たっては、設定した観点ごとに、特に目立った事柄を取り上げること。
- 2 利用に際しては、全体を通して総合的に判断し、各教科書の特色をとらえるとともに、地域の実態、その他の条件を考慮して、適正な採択のための資料とすること。
- 3 前記の観点と次表の観点、具体項目とは、対応させて読み取ること。



III 具体項目

観点		発行者	日 文	自由社	育鵬社	学び舎	
1 長 教育基本法の理念や第三期長崎県教育振興基本計画の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での特	(1) 「教科の特質に 応じて、「教育の 目的」及び「教育 の育成に資す る内容、構成とな っているか。」	地理	<ul style="list-style-type: none"> <li>「日本の諸地域」の学習のまとめに「アクティビティ」を設け、環境保全・地域活性化・防災など、各地方の課題への取組を提示することで、生徒たちが住む地域の課題に目を向けさせ、社会参画の意欲を高めることができるよう配慮されている。</li> </ul>				
		歴史	<ul style="list-style-type: none"> <li>巻末の「歴史との対話を未来に生かす」で、災害、政治参加、世界平和の視点ごとに、先人の取組を踏まえて現代の課題を考えることで、社会の諸課題を自分事として捉え、積極的に解決しようとする態度を育むことができるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>巻頭の「歴史を学ぶとは」で、歴史を学ぶことの意義や日本の歴史の伝統を捉えさせることで、我が国の伝統・文化や自然を誇りに思うとともに、その形成と発展に主体的に参画する意欲を高めることができるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国家、社会、文化の発展などに尽くした歴史上の人物について取り上げ、その人物を通して当時の社会を考えさせることで、我が国と郷土の歴史や伝統文化に対する理解を多面的・多角的に深めることができるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>章末の「第〇章をふりかえる」で、時代の特徴を他の時代と比較したり大観してまとめたりして、時代の特徴や当時の人々の暮らしについて議論させることで、柔軟な発想力や創造性を育むことができるよう配慮されている。</li> </ul>	
		公民	<ul style="list-style-type: none"> <li>「明日にむかって一私たちの地域参画一」では、身近な地域の課題を考える活動や将来について考える活動を設けることで、社会参画への意欲を高めることができるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各単元のまとめの「学習の発展」において、学んだ内容に関連する社会が抱える課題を示すことで、持続可能な社会の形成や国際社会の発展に主体的に参画する態度を育むことができるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各章の導入「入り口」において、その章で学ぶ内容に関する課題に取り組むことで、社会や国家の諸課題を認識し、自ら主体的に社会の形成に参画する意欲を高めることができるよう配慮されている。</li> </ul>		
	(2) 「ふるさと長崎の 伝統・文化や歴史、 自然について理解 を深めるとともに、 豊かな人間性の育 成を図る上での特	地理	<ul style="list-style-type: none"> <li>「九州地方」では、「自然環境をテーマに」という学習の関連資料として、大型客船を建造する長崎市の造船所の写真が掲載されている。</li> </ul>				
		歴史	<ul style="list-style-type: none"> <li>元寇について、鷹島神崎遺跡の元の軍船の写真が取り上げられている。</li> <li>活版印刷について、本木昌造が近代印刷技術の基礎をつくった人物として取り上げられている。</li> <li>梅屋庄吉について、コラムにおいて国際交流の視点で取り上げられている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>鎖国下の日本における、長崎の出島やオランダ商館の宴会、交易の様子が取り上げられている。</li> <li>日本の近代産業発祥の地として、長崎市の「明治日本の産業革命遺産」が取り上げられている。</li> <li>「二つの世界大戦と日本」の章末で、「焼き場に立つ少年」の写真と解説文が取り上げられている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>浦上天主堂が、世界の宗教と原爆投下後の様子との2か所で取り上げられている。</li> <li>元軍の進路の地図中には、対馬と壱岐が記されている。</li> <li>現代の章のはじめには、佐世保で建造された当時世界一のタンカー日章丸の写真が取り上げられている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝鮮通信使について、対馬藩の儒学者・雨森芳洲が取り上げられている。</li> <li>長崎での交易について、「蘭館絵図」が取り上げられている。</li> <li>原水禁運動とのかかわりから「高校生一万人署名活動」について紹介されている。</li> </ul>	
		公民	<ul style="list-style-type: none"> <li>「世界の軍縮と日本の役割」の中で、長崎市で開かれた平和首長会議が取り上げられ、核廃絶へ向けた取組が紹介されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「地方自治と防災」では、戦後日本を襲った主な自然災害として、諫早豪雨と長崎大水害が紹介されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「身近な祭りを調べてみよう」において、日本各地の有名な祭りの一つとして、「長崎くんち」が地図上に紹介されている。</li> </ul>		

Ⅲ 具体項目

発行者		東 書	教 出	帝 国	山 川
観点					
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長	(1) 基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるよう工夫されているか。	地理	・「地理スキル・アップ」では、「集める」「読み取る」「まとめる」の側面から、図、グラフの読み取り方や統計資料の使い方などを示すことで、地理の学習に必要な調べまどめる技能を習得することができるよう工夫されている。	・冒頭の「地理にアプローチ」で小学校で学習した地図やグラフの読み取り方を確認させるとともに、「地理の技」「地域調査の手引き」を設定することで、調べまどめる技能を習得することができるよう工夫されている。	・「技能をみがく」では、写真の読み取り方や地図やグラフの読み取り方、地域調査で役立つ地形図の使い方などを示すことで、地理の学習に必要な調べまどめる技能を習得することができるよう工夫されている。
		歴史	・学習した重要語句の確認を行う「チェック」と、要約や説明を行う言語活動の「トライ」、巻末の「用語解説」で、重要な用語を解説して示すことで、基礎的・基本的な知識を習得することができるよう工夫されている。	・本時の学習を見通す「タイトル」「学習課題」「時代スケール」の掲示、また、毎時間ごとに学習を振り返る「確認」と学習内容を説明する「表現」を示すことで、基礎的・基本的な知識・技能を習得することができるよう工夫されている。	・「技能をみがく」として様々なテーマを設定し、情報収集・文献の読み取り・レポート作成・発表などの手順を具体的に示すことで、調べまどめる技能を習得することができるよう工夫されている。
		公民	・各章末の「学習をふり返ろう」では、用語の解説や事象の関連性を図式化して示すことで、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図ることができるよう工夫されている。	・各章の終わりの「学習のまとめと表現」では、学習内容の定着度を確認するための問題を提示することで、基礎的・基本的な知識・技能を習得することができるよう工夫されている。	・「章を振り返ろう」のページでは、学習した語句や内容を確認する問題を設定することで、基礎的・基本的な知識・技能を習得することができるよう工夫されている。
	(2) 知識・判断力・表現力等を活用して課題を解決することができるよう工夫されているか。	地理	・「トライ」や「探求課題」「考える」、章末の「資料から発見」を設け、知識・技能を活用して、考えを述べる場面を多く設定することで、思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。	・「表現！」や「読み解こう」では、表や地図などの資料を参考に、考えを述べる場面を設けることで、思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。	・「説明しよう」では、学習課題に関する内容を説明する場面を設定することで、学習で得た知識・技能を活用し、思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。
		歴史	・章末の「まとめの活動」で考えを整理する場を設定したり、「みんなでチャレンジ」で「話し合い」の場を設定したりすることで、思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。	・章の最後に年表をまとめたり、地図で確認したりすることで、思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。	・章末のまとめで、時代の特色を説明する場を設定することで、思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。
		公民	・「みんなでチャレンジ」のコーナーを設け、グループでの対話的な活動ができるよう配慮するとともに、多様な思考ツールを用いて、学習内容を考察することで、思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。	・「言葉で伝え合おう」の特設ページでは、既習事項を基に、自身の考えをまとめたり、発表や討論を行ったりすることで、思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。	・「技能をみがく」のコラムを設け、ロールプレーイング、ディベート、KJ法を実践事例と共に紹介することで、知識・技能を活用し、思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。

Ⅲ 具体項目

観点		発行者	日 文	自由社	育鵬社	学び舎
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長	(1) 基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるよう工夫されているか。	地理	・「スキルUP」では、地図、統計資料、写真の活用の仕方などを解説したり、問いや活動を促したりすることで、調べまとめる技能を習得することができるよう工夫されている。			
		歴史	・本文では、基本用語を平易な語句で分かりやすく説明するとともに、編末の「学習の整理と活用」において、既習の歴史的事象を年表や地図を用いて確認することで、基礎的・基本的な知識を習得することができるよう工夫されている。	・章末の「復習問題のページ」で、重要語句の意味を確認したり、歴史的事象に関係する場所を地図上に示したりすることで、基礎的・基本的な知識を習得することができるよう工夫されている。	・章の初めの「鳥の目で見える〇〇」「虫の目で見える〇〇」の項目で、わが国の歴史の流れを把握しやすくするとともに、「学習のまとめ」に、年表、地図、グラフなどを用いた問題を多く配置し、基礎的・基本的な知識・技能を習得することができるよう工夫されている。	・「歴史を体験する」で、絵画資料の読み取りやフィールドワーク、糸紡ぎ体験、聞き取り調査など、手順を具体的に示すことで、調査活動の技能を習得することができるよう工夫されている。
		公民	・本文見開きごとに「確認コーナー」を設けることで、学習の終わりに基礎的・基本的な知識・技能の定着をねらいとした学習を行うことができるよう工夫されている。	・「ここがポイント」で各単元の要点を簡潔にまとめるとともに、「学習のまとめ」で「3つの問題」を設定することで基礎的・基本的な知識・技能を習得することができるよう工夫されている。	・各章末の「学習のまとめ」では、チェック方式によって重要語句の確認を促すコーナーを設けることで、基礎的・基本的な知識・技能を習得することができるよう工夫されている。	
	(2) 知識・判断力・表現力等を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されているか。	地理	・テーマごとに取り組む「チャレンジ地理」では、表やグラフを読み取って、まとめたり表現したりするための課題を設定することで、知識・技能を活用して思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。			
		歴史	・単元の最後に「学習の整理と活用」を設け、構造的な年表や表にまとめることで、思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。	・章末に、「歴史用語ミニ辞典」の作成を設定したり、時代の特色を対話形式で掲載したりすることで、思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。	・「歴史ズームイン」では、豊富な資料から生徒に問いかける課題を設定し、追究させることで、思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。	・「学習のまとめ」という項目を設定し、学習課題を文章にまとめたり、発表したりする活動を促すことで、思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。
		公民	・「アクティビティ」のコーナーでは、現代社会の見方・考え方を働かせて考察する問いを設けることで、課題解決的な学習を促し、思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。	・「やってみよう」のコーナーや「アクティブに深めよう」のページを設け、自分の考えや意見をまとめ、表現する活動を行うことで、思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。	・「スキルアップ」のコーナーを設け、ロールプレイングやディベートなど他者と議論する方法や意見の整理の仕方などを紹介することで、思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。	

Ⅲ 具体項目

発行者		東 書	教 出	帝 国	山 川
<p>2 学習指導要領の目標や内容等の特長を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長</p>	<p>(3) 主体的に学習に取り組む態度を身に付けることができるよう工夫されているか。</p>	<p>地理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「地理にアクセス」のコーナーを適宜設け、学習内容に関連した話題や写真、図などを提示することで、地理的事象への興味・関心を高め、生徒が主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。</li> </ul>	<p>地理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「地理の窓」を適宜設け、学習内容に関連したコラムを紹介することで、社会的事象への興味・関心を高め、生徒が主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。</li> </ul>	<p>地理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「世界の諸地域」と「日本の諸地域」の冒頭に、2ページにわたり州や地方の写真を配置し、位置を調べるコーナーを設けることで、生徒が主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。</li> </ul>	/
		<p>歴史</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>章のはじめに、時代を表す資料と探求課題を示すとともに、章末に、基礎・基本のまとめを設定することで、課題解決的な学習を行うことができるよう工夫されている。</li> </ul>	<p>歴史</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「歴史の技」「読み解こう」のコーナーでは、主題図やグラフなど、様々な資料の読み取り方を示すことで、生徒が主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。</li> </ul>	<p>歴史</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各章はじめの「タイムトラベル」で、「前の時代と比べて特色を考えよう」を提示し、歴史のつながりや、それぞれの時代の特色について、既習事項と関連付けることで、課題意識をもって学習に取り組むことができるよう工夫されている。</li> </ul>	<p>歴史</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習のはじめに、問いを示して学習課題を意識させ、学習の終わりに、学習をまとめたり、学びを深めたりする課題に取り組みせる流れで構成することで、見通しをもって主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。</li> </ul>
		<p>公民</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見開き2ページを、「導入資料」「学習課題」、学習を振り返る「チェック&amp;トライ」の流れで構成することで、見通しをもった学習活動ができるよう工夫されている。</li> </ul>	<p>公民</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>導入資料「LOOK」や、題材名の下に「学習課題」を示すことで、生徒が見通しをもって学習を進めることができるよう工夫されている。</li> </ul>	<p>公民</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「学習課題」「確認しよう」「説明しよう」のマークが付けられ、それぞれに具体的な課題や問いを示すことで、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。</li> </ul>	/

Ⅲ 具体項目

社会

発行者		日文	自由社	育鵬社	学び舎
2 力の学習指導要領の目標や内容等の特長を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長	(3) 主体的に学習に取り組む態度を身に付けることができるよう工夫されているか。	地理	・「トライ」「深めよう」のコーナーを適宜設け、学習内容に関連した問いや活動を提示することで、社会的事象への関心を高め、生徒が主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。		
		歴史	・「アクティビティ」では、学習の流れをスモールステップで示すことで、時代の特色を生徒が主体的に捉えることができるよう工夫されている。	・単元末の「チャレンジ」では、発展的な課題を示すことで、学びを深める新たな視点に気付かせ、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。	・章の終わりの「歴史のターニングポイント」では、一つの歴史的事象に焦点をあてて課題と資料を示すことで、関心や意欲を喚起することができるよう工夫されている。
		公民	・現代社会の課題を考える「チャレンジ公民」のコーナーを設け、生徒が身近に感じる課題を提示し、その解決を図ることで、主体的な学習を促すよう工夫されている。	・「ミニ知識」のコーナーで、生徒の興味・関心を高める内容を多く示すことで、生徒が主体的に調べ学習などに取り組むことができるよう工夫されている。	・「やってみよう」のコーナーでは、本文の学習に関連した課題解決的な学習課題を設けることで、学習を振り返るとともに、発展的課題に主体的に取り組むことができるよう工夫されている。

Ⅲ 具体項目

観点	発行者	東 書	教 出	帝 国	山 川
<p>2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、 確かな学力の育成を図る上での特長</p>	<p>(4) 夫さア 方社 れ会 て的 働事 か象 せるの か。地 理 的 な 見 方 ・ 考 え 方 ・ 工 夫 さ れ て い る か。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各単元の導入に、その単元で活用する「見方・考え方」を明示し、内容に応じた写真の比較や図表への整理等を行う場面を設けることで、地理的な見方・考え方を働かせることができるよう工夫されている。</li> <li>「北アメリカ州」の学習では、探究課題のテーマを「移民」とすることで、多様な人々が暮らす中で発展した産業や文化の地域的特色について考察することができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「地理的な見方・考え方」で、学習の視点をキャラクターの吹き出しを用いて提示することで、地理的な見方・考え方を働かせることができるよう工夫されている。</li> <li>「オセアニア州」の学習では、学習テーマを「なぜ他地域との関係が強まったか」とすることで、歴史的背景と人々の生活について考察することができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「地理的な見方・考え方」について事例を挙げて説明するとともに、地図や本文、図などで位置や分布を示したり、写真を比較させたりすることで、地理的な見方・考え方を働かせることができるよう工夫されている。</li> <li>「アフリカ州」の学習では、節の問いで「特定の産物に頼る経済が、地域にどのような影響を与えているか」と提示することで、地域に見られる課題を多面的・多角的に把握することができるよう工夫されている。</li> </ul>	
	<p>地理的分野</p> <p>かる定イ こし既 こと習 た事 が項 で学 き習 課活 題動 をを 基行 によ場 うよ面 つを 工設 夫定 さ学 れ自 て身 て深 いが るめ設</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>章末のまとめ「みんなでチャレンジ」では、既習事項と関連した課題を設定することで、お互いの意見を交換しながら学習活動を行う場面を設け、学びを深めることができるよう工夫されている。</li> <li>各章末では「探求のステップ」を設け、既習事項を基に人々の生活の特徴や違いを考え、表現する場面を設定することで、学びを深めることができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>章末の「学習のまとめと表現」では、「表現しよう」とともに「意見を交換しよう」を設け、グループで議論する場面を設定することで、段階的に学びを深めることができるよう工夫されている。</li> <li>特集ページ「地域から世界を考えよう」「現代日本の課題を考えよう」では、様々な分野における取組を知り、調べ、考え、表現する活動を設定することで、学びを深めることができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>章末の「学習を振り返ろう」では、「地理的な見方・考え方を働かせて説明しよう」を設け、グループで意見を交換する場面を設定することで、学びを深めることができるよう工夫されている。</li> <li>「身近な地域の調査」では、テーマの設定、調査の方法、表現の仕方を実際の写真やポスターを参考に、生徒自身の課題解決を促すことで、学びを深めることができるよう工夫されている。</li> </ul>	
	<p>さとのウ れす諸 て地 る地 るが か。国 の多 様な 土国 生に こと対 が文 で化 るを 愛情 を重 や、 うし 工よ 夫世 う界</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「世界の諸地域」の学習のはじめに、各州の課題と持続可能な開発目標を結び付けて提示することで、国際貢献の大切さや国際社会への理解を深めることができるよう工夫されている。</li> <li>「日本の諸地域」の学習で、我が国の歴史の中で形作られてきた人々の暮らしや、伝統産業、郷土料理などを取り扱うことで、我が国の伝統や文化に対する理解と愛情を深めることができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「世界の諸地域」の各州の冒頭で、学習テーマだけでなく、環境・人口・食料問題など各州と持続可能な開発目標とのかわりについても提示することで、国際社会への理解を深めることができるよう工夫されている。</li> <li>「世界の諸地域」の各州に設けられた「地域から世界を考えよう」の中で、文化の多様性や紛争、国際平和に関する内容を掲載することで、世界の諸地域への理解を深め、多様な生活文化を尊重しようとする態度を養うことができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「世界の諸地域」の振り返りの場面で「持続可能な社会に向けて考えよう」を設け、各州の課題と地球規模の問題との関連について示すことで、世界各地の多様な社会への理解を深めることができるよう工夫されている。</li> <li>「未来へ向けて」では、持続可能な社会を実現するための取組を、環境、防災、共生の視点に分けて紹介することで、様々な視点から我が国や国際社会への理解を深め、多様な生活文化を尊重しようとする態度を養うことができるよう工夫されている。</li> </ul>	



Ⅲ 具体項目

発行者		日 文	自由社	育鵬社	学び舎	
観点						
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長	地理的分野	<p>(4) ア 夫さ方社被社会的事象の地理的見方・考工考</p> <p>か。定イしこたがでできるよ工つて学び自身深め設</p> <p>さとのウ諸地我が国の多様な土生に對文する化を愛情よろし工よ世界</p>	<p>冒頭「地理との出会い」で五つの「地理的な見方・考え方」を説明し、各見開きページの学習課題とともに「見方・考え方コーナー」を設けることで、地理的な見方・考え方を働かせることができるよう工夫されている。</p> <p>「南アメリカ州」の学習では、追究するテーマに「開発と環境保全」を提示するとともに、環境問題を考察する際に、コラムを設けることで、様々な側面から考察することができるよう工夫されている。</p>			
		<p>か。定イしこたがでできるよ工つて学び自身深め設</p> <p>さとのウ諸地我が国の多様な土生に對文する化を愛情よろし工よ世界</p>				<p>「深めよう」では、既習事項を表やグラフと関連付けて考えをまとめ、意見交換をする言語活動の場面を設定することで、学びを深めることができるよう工夫されている。</p> <p>「地域調査の手法」では、既習事項を基にテーマの設定、調査の進め方、発表方法をグループ活動として設定することで、生徒自身が定めた学習課題をもとに、学びを深めることができるよう工夫されている。</p>
		<p>さとのウ諸地我が国の多様な土生に對文する化を愛情よろし工よ世界</p>				<p>「世界の諸地域」と「日本の諸地域」の学習を基に、持続可能な開発目標が達成されているかどうかを判断させる活動を設定することで、国際社会や国際貢献の大切さへの理解を深めることができるよう工夫されている。</p> <p>「自由研究」や「地理+α」でアフリカの紛争や沖縄戦、広島への原子爆弾の投下などについて掲載することで、国際平和や共生社会への理解を深め、多様な生活文化を尊重しようとする態度を養うことができるよう工夫されている。</p>

Ⅲ 具体項目

観点		発行者	東 書	教 出	帝 国	山 川
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、 確かな学力の育成を図る上での特長	歴史的分野	(5) れ方ア てを働 社会的 かせる か。こ 事象の 歴史的 的なる 見方 工夫 考え	<ul style="list-style-type: none"> <li>「集める」「読み取る」「まとめる」を示すマークとその活動事例や学習の進め方を提示することで、歴史的な見方・考え方を働かせることができるよう工夫されている。</li> <li>「見方・考え方」のコーナーを設け、「時期や年代」「推移」「比較」「相互の関連」「現代とのつながり」などの視点を示すことで、歴史的な見方・考え方を働かせることができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「歴史にアプローチ」で、小学校からの接続をふまえて見方・考え方を示すことで、各章の学習で、それを働かせながら学習を深めることができるよう工夫されている。</li> <li>「歴史の技」や「読み解こう」、資料解説に付随した「Q」、各時間の最後に設けた「表現」のコーナー、各章末の「学習のまとめと表現」の中で問いを設けることで、歴史的な見方・考え方を働かせることができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文中に「確認しよう」の問いを設けることで、知識の確実な習得を促し、次の「説明しよう」の問いにつなげることで、歴史的な見方・考え方を働かせることができるよう工夫されている。</li> <li>絵画資料、図版、グラフ等に「資料活用」マークを付すことで、資料を活用するための視点を示し、歴史的な見方・考え方を働かせることができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真・グラフ・史料等のそれぞれに問いを提示することで、読み取りの際に着目したい視点や追究したい内容を把握して、歴史的な見方・考え方を働かせることができるよう工夫されている。</li> <li>「地域からのアプローチ」において、それぞれの都市の特徴を、地名・食・史跡・都市のつくり等の様々な視点から読み解くことで、歴史的な見方・考え方を働かせることができるよう工夫されている。</li> </ul>
		か。定イ こした 既習 たが 学習 でき 事項 るよ 課題 よ。に よ。よ 工つ 夫て され び自 を身 い深 がる め設	<ul style="list-style-type: none"> <li>「地域の歴史を調べよう」では、身近な地域の歴史について調査をする事例を取り上げて示すことで、生徒が設定した学習課題を追究する際の参考となるよう工夫されている。</li> <li>「歴史にアクセス」で、人権平和、伝統文化等の視点から学習内容を説明したり、「Dマークコンテンツ」で、発展的な学習を促したりすることで、学びを深めることができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元ごとに設定されている「歴史を探ろう」では、各エピソードを詳しく紹介することで、学習を深めることができるよう工夫されている。</li> <li>「まなびリンク」では、二次元コードを示すことで、生徒の課題に応じて、既習事項に関連する様々な情報を収集することができるように工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「歴史にプラス」では、歴史的な事象の詳しい説明があり、学習をより深められるよう配慮するとともに、二次元コードを記すことで、生徒の課題に応じた情報収集に対応できるよう工夫されている。</li> <li>「コラム～対話的な学びのために～」では、環境、交流、人権、平和の視点から歴史的なエピソードを紹介することで、学習を深めることができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「コラム」では、学習を深められる情報を随所に設定したり、二次元コードで発展的な学習を促したりすることで、生徒の課題に応じて学習を深めることができるよう工夫されている。</li> <li>「歴史へのアプローチ」では、一つのテーマについて様々な視点から歴史的な背景や影響を詳しく紹介することで、学習を深めることができるよう工夫されている。</li> </ul>
		工際ウ 夫協 され の精 を養 うに 対と する が愛 情や よう 国	<ul style="list-style-type: none"> <li>「資料から発見」では、絵巻物や浮世絵などの資料を基に視点を提示することで、当時の人々の生活や文化について考えることができるよう工夫されている。</li> <li>「もっと歴史」で、オリンピック、パラリンピックの歴史について取り上げることで、我が国と世界各国とのつながりに気付かせ、国際協調の精神を養うことができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「歴史を探ろう」では、後藤新平と杉原千畝の功績を取り上げることで、先人の行動から国際協調の精神を養うことができるよう工夫されている。</li> <li>「歴史を探ろう」の「隣国と向き合うために」というテーマでは、領土をめぐる課題を取り上げることで、国際協調の精神を養うことができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「人物コラム」で、近代以降の様々な立場の人物を多く取り上げることで、先人の思いや功績について学ぶことができるよう工夫されている。</li> <li>「未来に向けて」のコーナーで、「エルトゥールル号のきずな」や「日本と中国をつないだ人々」を取り上げることで、互いの文化を尊重し、国際協調の精神を養うことができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「地域からのアプローチ」で、多くの都市を取り上げることで、地域の歴史と文化財保護の視点から考えることができるよう工夫されている。</li> <li>「〇世紀の世界」で、日本と世界の歴史をつなぎ、グローバルな視点で歴史を学ぶことができるようにすることで、世界各国の伝統や文化を尊重する態度を養うことができるよう工夫されている。</li> </ul>

Ⅲ 具体項目

観点	発行者	日 文	自由社	育鵬社	学び舎
<p>2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長</p>	<p>(5) 社会的事象の歴史的背景や見方・考え方を働かせることができるよう工夫されている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「歴史的な見方・考え方とは？」で、時系列、推移、比較、つながりの四つの視点による学習の進め方を提示することで、歴史的な見方・考え方を働かせることができるよう工夫されている。</li> <li>見開きごとに、「見方・考え方」マークで学習課題を解決する手がかりを示すことで、歴史的な見方・考え方を働かせることができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>章末の「調べ学習のページ」の吹出しで、歴史的事象に対する疑問や感想を提示することで、着目すべき視点を把握し、歴史的な見方・考え方を働かせることができるよう工夫されている。</li> <li>章末の「時代の特徴を考えるページ」で、時代や人物を比較する方法や視点を示すことで、歴史的な見方・考え方を働かせることができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各章末の「学習のまとめ」で、各時代の特徴を大観する問いを設け、文化や人々の暮らし等と関連付けて考えさせることで、歴史的な見方・考え方を働かせることができるよう工夫されている。</li> <li>章末の「歴史のターニングポイント」で、追究したい問いや視点を例示することで、歴史的な見方・考え方を働かせることができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「第〇章をふりかえる」では、単元で学習した歴史的なできごとの特徴や変化、他地域とのかかわりをまとめる問いを設定することで、歴史的な見方・考え方を働かせることができるよう工夫されている。</li> <li>見開き左上の絵図や写真を基に学習課題を設定し、課題解決の視点を示すことで、歴史的な見方・考え方を働かせることができるよう工夫されている。</li> </ul>
	<p>歴史的分野</p> <p>既定事項を基に、生徒自身による深い学習を促したり、「歴史を掘り下げる」で社会的事象や人物について詳しく紹介したりすることで、生徒の課題に応じて学びを深めることができるよう工夫されている。</p> <p>「チャレンジ歴史」では「考古学に挑戦」など興味・関心を喚起する資料を提示することで、学びを深めることができるよう工夫されている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「デジタルマーク」を付して発展的な学習を促したり、「歴史を掘り下げる」で社会的事象や人物について詳しく紹介したりすることで、生徒の課題に応じて学びを深めることができるよう工夫されている。</li> <li>「チャレンジ歴史」では「考古学に挑戦」など興味・関心を喚起する資料を提示することで、学びを深めることができるよう工夫されている。</li> <li>各章末の「『ひとこと』作文」では、その時代の特徴を顕著に示す語句を考え説明する学習を設定することで、時代を大観し、学びを深めることができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コラム「もっと知りたい」では、既習の歴史的事象や人物について詳しく紹介することで、生徒の課題に応じて学びを深めることができるよう工夫されている。</li> <li>各章末の「『ひとこと』作文」では、その時代の特徴を顕著に示す語句を考え説明する学習を設定することで、時代を大観し、学びを深めることができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「歴史ズームイン」「なでしこ日本史」では、歴史的事象や人物像を詳しく紹介することで、設定した学習課題に応じて学びを深める上で参考となるよう工夫されている。</li> <li>「歴史のターニングポイント」では、歴史の分岐点に焦点を当てることで、課題を追究する学習を充実させることができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「年表」では、世界史と日本史の対照表とすることで、学習課題を追究する過程で参考とすることができるよう工夫されている。</li> <li>「フォーカス」では、歴史的な出来事やエピソードについて詳細な説明をすることで、生徒の課題を追究する学習を深めることができるよう工夫されている。</li> </ul>
	<p>我が国の歴史を養うことのできる愛情や、国際協調の精神を養うことのできるよう工夫されている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「地図で見る世界の動き」では、世界地図の中で、その時代の日本と世界との関係を視覚的に捉えさせることで、我が国の歴史に対する愛情を育むことができるよう工夫されている。</li> <li>「歴史を掘り下げる」の特設ページで領土問題を取り上げ、平和的な解決に向けた交渉の経緯や背景を紹介することで、国際協調の精神を養うことができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コラム「人物クローズアップ」では、日本の政治・経済・文化等の発展に貢献した人物を詳しく紹介することで、我が国の歴史に対する愛情を育むことができるよう工夫されている。</li> <li>コラム「外の目から見た日本」では、外国人から見た当時の日本人の様子や外国での日本に対する評価を紹介することで、我が国の歴史に対する愛情を育むことができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「日本人の誕生物語」で、日本人のルーツを様々な視点から取り上げたり、「日本の美の形」で、各時代の代表的文化を写真で紹介したりすることで、我が国の歴史に対する愛情を育むことのできるよう工夫されている。</li> <li>「このころ世界は」や「歴史ズームイン」では、世界という枠組みの中で我が国の歴史を捉えさせることで、国際協調の精神を養うことができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化遺産については、書物の一節を紹介したり、現代とのつながりについて記述したりすることで、我が国の歴史に対する愛情を育むことができるよう工夫されている。</li> <li>第二次世界大戦の時代に多くのページを使って戦争の実情を紹介することで、平和について考えを深めることができるよう工夫されている。</li> </ul>



Ⅲ 具体項目

観点		発行者	日 文	自由社	育鵬社	学び舎
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、 確かな学力の育成を図る上での特長	公民的分野	(6) てかア いる る か。現代 社会の 見方・ 考え方 を働か せるこ とがで きるよ う工夫 されて いる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>合唱コンクールという生徒に身近な題材を取り上げ、具体的に考察させることで、「対立と合意」「効率と公正」といった現代社会を捉える見方・考え方を養うことができるよう工夫されている。</li> <li>各学習ページに「学習課題」とともに「見方・考え方」を明示することで、学習課題の解決に向けた手がかりとして活用することができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「対立と合意」「効率と公正」について、学校生活の身近な例を取り上げることで、具体的に考え、現代社会の見方・考え方を働かせて考えることができるよう工夫されている。</li> <li>「アクティブに深めよう」では、現代社会が抱えている課題を取り上げ、解決策を導き出す話し合い活動を取り入れることで、現代社会の見方・考え方を働かせることができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グラウンド使用という身近な具体例を取り上げ、考察させることで、「対立と合意」「効率と公正」といった現代社会を捉える見方・考え方を養うことができるよう工夫されている。</li> <li>「持続可能な開発目標」や「持続可能な社会の実現をめざして」では、多くの写真資料や解説を通して現代社会の諸課題を捉えることで、その解決に向け考察、構想することができるよう工夫されている。</li> </ul>	
		としイ がた学 習事 項を 基に 、生 徒自 身が 設定 でき るよ う工 夫さ れて いる か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学習ページに「深めよう」を設け、習得した知識を基に、考えたり話し合ったりする課題に取り組むことで、主体的に学び、学習を深めることができるよう工夫されている。</li> <li>各編のまとめとして「学習の整理と活用」を設け、学習内容と語句の整理を基に、説明する課題に取り組むことで、学習を深めることができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「課題の探究」のページではレポートや論文の作成方法、ディベートでの議論の仕方を紹介することで、生徒が自ら課題を追究して学習をする際の参考にすることができるよう工夫されている。</li> <li>各章のまとめの中に「学習の発展」のコーナーを設け、複数の課題の中から自分の興味・関心に応じて選択し、まとめることで、学習を深めることができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「学習を深めよう」では、本文の学習内容をより身近なものとして捉えることができる詳しい資料と学習課題を提示することで、課題解決に向けて構想し、学習を深めることができるよう工夫されている。</li> <li>「社会科のまとめ」、「テーマを決めてレポートを作成しよう」は、既習事項を基に自ら課題を設定することで、追究したり解決したりする活動を展開することができるよう工夫されている。</li> </ul>	
		と力やをウ がし愛し、国民 合う各、主 国この主権を の事その平和と につ主権を尊重し、 工権を自覚を 夫深め さ深め れてる るか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「私たちの国際社会」では、日本と世界の多様な文化について写真や資料から学ぶことで、多文化共生社会の重要性を認識し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を育成することができるよう工夫されている。</li> <li>巻頭のページには、「国際社会共通の目標、SDGs」として、持続可能な開発目標を示すことで、よりよい社会の形成について国際的視点から、積極的に関わろうとする自覚へとつながるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「もっと知りたい」のページでは、国際情勢や世界の中での日本を考えさせるテーマを多く設定することで、広い視野をもって国際協調の精神を養うことができるよう工夫されている。</li> <li>巻頭には日本の先端技術、巻末には日本の伝統工芸品を見開きで特集し、本文の中にも日本や日本人の活躍を多く記載することで、自国を愛する気持ちや態度を育むことができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「政治の入り口」では、市議会議員の立場に立って政策を主張するロールプレイングを取り入れることで、それぞれの役割と責任を学び、社会の発展に寄与する態度を育成することができるよう工夫されている。</li> <li>国際協力機構や青年海外協力隊の活動を写真で紹介し、日本人の活躍を見ることで、国際社会の中で信頼と尊敬を得る日本人の育成へとつながることができるよう工夫されている。</li> </ul>	

Ⅲ 具体項目

発行者		東 書	教 出	帝 国	山 川	
<p>3 学習効果や使いやすさ、見やすさ（ユニバーサルデザイン）等の観点からの表記・表現や体裁の特長</p>	<p>(1) 文章は、分かりやすく、質・量ともに適切な記述となっているか。</p>	<p>地理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平易な文章で記述し、重要な用語を巻末の用語解説のページにおいて説明することで、生徒が学習内容を理解することができるよう配慮されている。</li> </ul>	<p>地理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>分かりやすい本文の内容に加えて「地理の窓」で補足説明をしたり、重要な用語を巻末の用語解説のページで説明したりすることで、生徒が学習内容を理解することができるよう配慮されている。</li> </ul>	<p>地理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本文は丁寧な記述となっており、本文を補足する図の解説もなされている。また、重要な用語の解説を同じページ内に記すことで、学習内容を理解することができるよう配慮されている。</li> </ul>	<p>山川</p>	
		<p>歴史</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文字の大きさや量のバランスがよく、読みやすい内容となっている。「歴史にアクセス」や「人物」の説明も随所に記載があり、確認しやすくなるよう配慮されている。</li> </ul>	<p>歴史</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平易な言葉で分かりやすく記述するとともに、太字の部分は字体を変え、印象に残るよう配慮されている。</li> </ul>	<p>歴史</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小単元の表記は、分かりやすさに配慮した表現となっている。また、多くの漢字にふりがなを付けることで、誤読を防ぐよう配慮されている。</li> </ul>		<p>山川</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1ページあたりの文字数を多くし、情報を充実させている。「歴史へのアプローチ」や「章のまとめ」の文字を大きく記載することで、読みやすくなるよう配慮されている。</li> </ul>
		<p>公民</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本文は敬体を用い、平易で具体的な表現で分かりやすく記述するとともに、固有名詞などに適宜ふりがなを使用し、誤読を防ぐよう配慮されている。</li> </ul>	<p>公民</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>漢字には適宜ふりがなを使用しており、読みやすくするとともに、記述の表現は身近な生活体験を示すことで分かりやすくなるよう配慮されている。</li> </ul>	<p>公民</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>漢字にはふりがなを多く使用するとともに、分かりにくい用語については詳しい解説を掲載することで、本文が読みやすくなるよう配慮されている。</li> </ul>		<p>山川</p>
	<p>(2) 写真、挿絵、図表などとの関連や学習効果に十分配慮されているか。</p>	<p>地理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「日本の諸地域」の冒頭で各地方の課題に関連する大きな写真を示したり、脚注に他教科との関連を示すマークを記載したりすることで、学習効果を高めることができるよう配慮されている。</li> </ul>	<p>地理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本全土を一目で俯瞰できる折り込み資料や「世界の諸地域」と「日本の諸地域」の冒頭で見開き2ページにわたる写真を掲載することで、学習意欲を高めることができるよう配慮されている。</li> </ul>	<p>地理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「日本の諸地域」の冒頭で各地方のイラスト地図を掲載したり、「世界の諸地域」では各都市の雨温図に世界の気候区分の名称を記したりするなど、学習内容に関連する情報を豊富に掲載することで、興味・関心を高めることができるよう配慮されている。</li> </ul>	<p>山川</p>	
		<p>歴史</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多くの資料に、他分野、他教科との関連を示したり、指定文化財と分かるようなマークを付けたりすることで、学習効果を高めることができるよう配慮されている。</li> </ul>	<p>歴史</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>導入のページに大きな写真資料が用いられ、資料を読み取る視点が質問形式で示されている。また、小学校で学んだ人物が分かるように表記されている。</li> </ul>	<p>歴史</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>写真資料に加え、イラストも多く使われ、「タイムトラベル」では、大きなイラストと資料を読み取る視点が問題形式で示されている。</li> </ul>		<p>山川</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各章のはじめに、年表と関連のある写真が記載され、「世紀の世界」では、世界史が地図とイラストでまとめられ、大観できるようにしている。</li> </ul>
		<p>公民</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料を大きく掲載し、資料の「図番号」を本文にも付すことで、効率的に学習ができるよう配慮されており、漫画やイラストなどを豊富に掲載し、興味・関心をもって学習を進めることができるよう配慮されている。</li> </ul>	<p>公民</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「公民の技」というコラムでは、小学校や高校での学習事項とのつながりを捉えることができるようにすることで、生徒の興味・関心を喚起するよう配慮されている。</li> </ul>	<p>公民</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「学習の前に」のページでは、学習内容と身近な場面とを関連付けるイラストを掲載することで、学習効果を高めることができるよう配慮されている。</li> </ul>		<p>山川</p>

Ⅲ 具体項目

発行者		日 文	自由社	育鵬社	学び舎
<p>3 学習効果や使いやすさ、見やすさ（ユニバーサルデザイン）等の観点からの表記・表現や体裁の特長</p>	<p>(1) 文章は、分かりやすく、質・量ともに適切な記述となっているか。</p>	<p>地理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>脚注に小学校での振り返りや他分野との関連を詳しく記したり、重要な用語について巻末の解説ページで説明したりすることで、生徒が学習内容を理解することができるよう配慮されている。</li> </ul>			
		<p>歴史</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全体的に文字と資料がバランスよく配置されている。「基本用語」では、社会科の基礎・基本となる用語について丁寧に説明されている。また、「地域に学ぶ」は、資料と文字のレイアウトが統一されており、読みやすくなるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>難解な用語にふりがなを付けたリ、詳しい解説を記載したりすることで、文章を分かりやすくするよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文の文字が大きく読みやすい。また、欄外の用語の解説を詳しく充実させることで、文章を分かりやすくするよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小単元の表題が大きく分かりやすい。また、欄外の用語の解説は、フォントや色を変えてあり、印象に残るよう配慮されている。また、1ページ当たりの文字数を考慮し、読みやすくなるよう配慮されている。</li> </ul>
		<p>公民</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平易な文章表現で読みやすくするとともに、重要語句は太字を使用し、ふりがなを付けることで、知識の習得に結び付くよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文は簡潔にまとめられている。重要語句については太字で記載されており、意味の補足が必要な語句については、欄外に注釈として詳しく説明することで、理解しやすくなるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>分かりやすい文章表現で、固有名詞などには適宜ふりがなが使用されるとともに、難解な法律用語には補足をつけることで、理解しやすくなるよう配慮されている。</li> </ul>	
	<p>(2) 習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。</p>	<p>地理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「世界の諸地域」と「日本の諸地域」の冒頭に、見開き2ページにわたって写真とその説明文を掲載したり、日本の各地方の最初の部分で地形と人口密度の図を並べて配置したりすることで、学習効果を高めることができるよう配慮されている。</li> </ul>			
		<p>歴史</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中世と近世の屏風を見開きで比較できるようにしたり、金剛力士像の大きさを中学生の身長と比較したりすることで、学習意欲を高めることができるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真や絵画の一部を拡大して掲載したり、資料の番号を本文に記載したりすることで、学習効果を高めることができるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各章の扉には、「海洋国家日本の歩み」として、それぞれの時代を象徴する船の写真や絵を取り上げている。写真や資料には、読み取るポイントを示すことで、学習効果を高めることができるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の興味を引く写真や資料が大きく取り上げられている。巻末の年表は、写真や図表を取り入れた詳しい内容となっており、効果的に活用することができるよう配慮されている。</li> </ul>
		<p>公民</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物のキャラクターの吹き出しに、写真や図表を読み取る視点や考えを深める問いを示すことで、学習効果を高めることができるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真、挿絵、図表には学習内容との関連を図ることができるように、タイトルや解説を記入することで、学習効果を高めることができるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各章の導入のページには、関連する多くの写真資料を掲載し、小学校での既習事項とのかかわりを記すことで、学習意欲を高めることができるよう配慮されている。</li> </ul>	

### Ⅲ 具体項目

社会

発行者		東 書	教 出	帝 国	山 川
<p>3 特長</p> <p>学習効果やデザインの使いやすさ、視点からの表記・表現や体裁の</p>	<p>(3) レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用しているか。製本等については、適切に配慮されるか。</p>	<p>地理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ふりがなの文字濃度を本文よりも淡くしたり、不要な陰影や立体感のあるデザインを用いないことで、生徒が学習内容に集中できるよう配慮されている。</li> </ul>	<p>8ページにわたる折り込み資料を掲載したり、キャラクターの吹き出しに記された文章を工夫して表したりすることで、教科書の内容が読み取りやすくなるよう配慮されている。</p>	<p>文字を濃く示したり、資料の周囲をグレーで囲み、同一の資料の範囲を分かりやすくしたりすることで、生徒が学習内容に集中できるよう配慮されている。</p>	
		<p>歴史</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>章ごとに資料の背景色を統一したり、文字や資料を大きく鮮明にしたりすることで、読みやすくなるよう配慮されている。</li> </ul>	<p>章ごとに資料の背景色を統一したり、本文の文字や資料を見やすい大きさにしたりすることで、読みやすくなるよう配慮されている。</p>	<p>見開きごとに「年表インデックス」を設けたり、章ごとに色を統一したりすることで、学習している時代を捉えやすくするよう配慮されている。</p>	<p>資料を多く用いたり、口語訳で表したり、一部要約して示したりすることで、生徒が読みやすくなるよう配慮されている。</p>
		<p>公民</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文字や図表、写真などの資料を読み取りやすいよう大きさを工夫してレイアウトしたり、見分けやすい色や、色以外の情報を用いたりすることで、生徒が分かりやすくなるよう配慮されている。</li> </ul>	<p>図やグラフなどの資料は、レイアウトや書体などの表現を工夫し、読みやすくすることで、生徒がより学びやすくなるように配慮されている。</p>	<p>本文を囲んで写真や図表を配置するとともに、タイトルや学習課題のマークや色彩を統一することで、生徒にとって見やすくなるよう配慮されている。</p>	



Ⅲ 具体項目

発行者		日文	自由社	育鵬社	学び舎
<p>3 特長</p> <p>学習効果やデザインの使いやすさ、見やすさ等、ユニバーサルデザインの見やすさからの表記・表現や体裁の</p>	<p>(3) レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用、紙質、製本等については、適切に配慮されているか。</p>	<p>地理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図版タイトルの先頭に矢印を付け、どの図版を指しているか明確にしたり、各ページ右側の章ごとに色分けしたインデックスを設けたりすることで、学習内容と教科書の記載部分の関連が明確になるよう配慮されている。</li> </ul>	/	/	/
		<p>歴史</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 見開きごとに「小年表」と「時代・世紀のスケール」が記すことで、学習している時代や学習内容の時間的流れを捉えやすくなるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1 から94の通し番号で学習内容を構成し、見開きの左下に「歴史モノサシ」を掲載することで、時代の位置付けを捉えやすくなるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 章ごとに資料の背景色を統一したり、文字や写真、図表が大きく鮮明なものを掲載したりすることで、美しく、見やすくなるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 淡い色合いを基調とした配色で、カラーユニバーサルデザインに配慮しており、読みやすくなるよう配慮されている。</li> </ul>
		<p>公民</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 編ごとに基本色に違いをもたせることで、単元ごとのまとまりを把握しやすくするとともに、本文を囲む写真や図表などの資料のレイアウトを統一し、本文が読みやすくなるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 写真や図表は比較的サイズが大きく、上部にレイアウトされていることで、生徒が本文の内容を理解しやすくなるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ユニバーサルデザインの視点から、図版には判別しやすい色の使用や表示をしたり、見開きごとに通し番号を付けたりすることで、確認しやすくなるよう配慮されている。</li> </ul>	/